令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22071	事業名	リニア中央新幹線整備促進事業				
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()						
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上			予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化				款	02:総務費
		施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進				項	01:総務管理費
		重点プロジェクト	-				目	07:企画費
事業期間	H 21 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-				

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	政策部
課	政策推進課 交通政策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	<p>県期成同盟会において、本市を県内駅位置候補とすることが決定され、令和3年10月には県内駅候補地案を提案した。こうした中、リニア亀山市民会議への継続した支援や関係団体等との連携を強化し、リニア中央新幹線の早期全線開業と市内停車駅設置の実現に向けた一層の機運醸成を図る必要がある。</p>	<p>リニア亀山市民会議・市民・企業・商業者</p>	<p>リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向けて、市民をはじめ、県全体での機運醸成が図られ、リニア中央新幹線の市内停車駅設置が実現される。</p>	<p>リニア亀山市民会議の活動を継続して支援し、一層の市民の機運醸成を図るための活動を展開するとともに、県・関係団体等との連携を強化する。また、市内停車駅の誘致に向けた情報収集や必要な調査を行う。</p>

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の実施 ○PR活動	○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動	○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動	○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	<p>リニア亀山市民会議に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅誘致に向けて、市内外のイベントにおいてPRグッズを配布したほか、夏休みには親子学習会を開催した。国県のリニア期成同盟会等と連携し、全線開業や誘致に向けた活動を展開した。誘致の実現を見据え、リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の結果を取り纏めた。</p>	<p>国・県のリニア期成同盟会等との連携を図るとともに、リニア亀山市民会議に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の早期全線開業やリニア三重県駅誘致に向けて、PRカレンダーや会報等配布のほか、Nゲージリニアを活かしたジオラマ製作設計とともにワークショップ等を開催した。また、市内を運行するさわやか号にリニアPRラッピングを施しPRを実施した。</p>				
計 画 額	事業費	10,800千円	10,730千円	1,700千円	1,637千円	1,700千円	
	国・県支出金		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円		
	その他		0千円		0千円		
	一般財源	10,800千円	10,730千円	1,700千円	1,637千円	1,700千円	
決 算 額	事業費		10,649千円		1,635千円		
	国・県支出金		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円		
	その他		0千円		0千円		
	一般財源		10,649千円		1,635千円		
①期間内計画額(R4-7)		15,900千円		②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	15,900千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	1,637千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	三重県期成同盟会等との連携数	活動	回	計画値	5	5	5	5
				実績値	7	7		
リニア関連イベント参加者数	市民会議が実施するイベントへの参加者数	活動	人	計画値	60	80	100	120
				実績値	84	323		
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	<p>A</p> <p>リニア亀山市民会議をはじめ、県等関係団体と連携した継続的な官民一体の取り組みにより、市民等にPRを行うことができ、リニア三重県駅の設置や全線早期開業に向けて更なる機運醸成に資することができた。</p> <p>十分な成果を得た</p>

事業の対象	事業の目的
リニア亀山市民会議・市民・企業・商業者	リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向けて、市民をはじめ、県全体での機運醸成が図られ、リニア中央新幹線の市内停車駅設置が実現される。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	各同盟会におけるJR東海等への要望のほか、建設主体であるJR東海により三重県でも環境影響評価に着手されたことにより、リニア中央新幹線のルートや駅位置の公表を見据え、リニア亀山市民会議をはじめとする、三重県や関係団体等と連携した更なる機運醸成につながる取組を展開していく必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの
	三重県をはじめとする関係団体等との連携を深め、建設主体であるJR東海等への要望のほか、更なる機運醸成のための協働による事業を展開する。また、リニア市民会議に継続した支援を行い、更なる市民の機運醸成のため、会員拡大につながる取り組みを継続して展開する。	リニア中央新幹線の早期全線開業及びリニア三重県駅誘致に向け、リニア亀山市民会議の会員拡大とともに、事業主体であるJR東海によるルートや駅位置の公表を見据え、官民一体となった効果的な誘致活動を継続して展開する。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	政策部 政策推進課 交通政策GL 服部 任之
最終評価者	政策部 政策推進課長 藤尾 春樹